

SDGs Report 2025

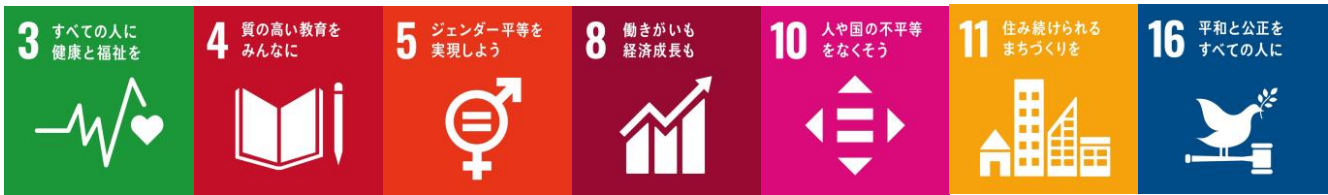
公益財団法人福岡県スポーツ協会



スポーツと SDGs

- ・2015年9月の国連サミット
「スポーツは持続可能な開発における重要な鍵」
（「持続可能な開発のための2030アジェンダ」）
- ・スポーツ庁
SDGs に対しスポーツで貢献していくことを表明（「スポーツ SDGs」）
- ・公益財団法人日本スポーツ協会
社会貢献に根差したそれぞれの事業を通じて直接的・間接的に SDGs の達成に幅広く貢献し、持続可能な社会の実現に貢献していくことを表明

<スポーツに関連する主な SDGs>



公益財団法人福岡県スポーツ協会について

当財団は県内における体育・スポーツの健全な発展に寄与することを目的として、昭和3年に創られた福岡県体育会を再編成して昭和22年に創られました。

その後、昭和45年8月に財団法人の設立認可を受け、地域体育協会・競技団体・学校体育団体などの加盟団体の活動に必要な経費の助成を行うなど、県内スポーツ界の競技力の向上と、生涯スポーツの振興に努めています。また、本協会は、広く県民にスポーツを普及振興するとともに、スポーツの生活化を推進し、併せて有能なスポーツマンの養成と競技力の飛躍的な向上を目指して、諸事業を実施しています。

SDGs 宣言

公益財団法人福岡県スポーツ協会は「スポーツの力」で SDGs 達成を目指します

関係機関や加盟団体等パートナーの皆さんと協同して各種事業を積極的に推進し
すべての人が健康で生きがいを持って生活できる社会の実現を目指します

2023年6月6日

2025 年度 活動実績

事業実施回数 >>> のべ **1,023** 回
対象者人数 >>> のべ **177,730** 人

主要事業	関連する SDGs
1 「生活・健康スポーツ」の振興事業 ▶ 郡市体育・スポーツ協会が実施する県民を対象としたスポーツイベント等に対して助成(33 事業、3,358 名) ▶ 郡市体育・スポーツ協会ガバナンス強化事業に対して助成(38 事業) ▶ スポーツフェスタ・ふくおか第 68 回福岡県民スポーツ大会を福岡県との共催で実施(51 競技、10,669 名)	   
2 「競技スポーツ」の振興事業 ▶ 県内競技団体のガバナンス強化事業(39/48 競技団体) ▶ 福岡県の委託を受けてアスリートの活動助成 430 回、9,562 名)及び指導者養成事業(35 回、58 名)、一貫指導体制整備推進事業(10 事業)を実施 ▶ 国民スポーツ大会九州ブロック大会 791 名、国民スポーツ大会に 646 名の選手団を派遣	   
3 「ジュニアスポーツ」の振興事業 ▶ 「福岡県タレント発掘事業」を実施(受講生 174 名、参加者 66,793 名)	   
4 スポーツ少年団事業 ▶ スポーツ少年団を県内 39/60 自治体に設置(登録: 512 団、団員 9,933 名、指導者 1,012 名、役員 216 名、スタッフ 856 名) ▶ スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会(150 名)、ジュニア・リーダースクールを開催(50 名)、県内競技別交流大会(6 競技)を実施(3,279 名) ▶ 九州ブロック競技別交流大会に 107 名、全国競技別交流大会に団員・指導者 46 名を派遣	   
5 指導者育成・養成事業 ▶ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会を実施(255 名) ▶ (※公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度登録者数 6,314 名) ▶ 県スポーツ指導者研修会を 2 回実施	 
6 スポーツ医・科学委員会事業 ▶ スポーツ医・科学サポート実践事業を実施(23 回) ▶ 国民スポーツ大会冬季大会出場者に対し、アンチ・ドーピングに関するアドバイスを実施。 ▶ 国民スポーツ大会ハスポーツドクター及びトレーナーを派遣(15 名)	
7 情報提供・広報事業 ▶ 国民スポーツ大会期間中に加盟団体等に対し最新スポーツ情報を配信(289 回) ▶ 広報紙「スポーツ福岡」第 11・12・13 号を発刊	
8 表彰事業 ▶ 多年本県スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著な個人 8 名並びにスポーツにおいて抜群の成績を挙げた 14 団体と個人 42 名を表彰	

※ここに掲載した以外にも SDGs に関連した事業を実施しています。